



県政報告 県政を身近に

平成28年
2016
秋季号

Vol.21

埼玉県議会議員

武内まさふみ

たけうち

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

〈ごあいさつ〉

平成28年9月定例県議会が10月14日に閉会しました。今回、私は一般質問をする機会を得ました。人口減少地域への県の重点支援を訴えたのははじめ、太陽光発電施設の設置規制強化、移住促進など、私たちの地域が抱えている課題について質問しました。均衡ある県土の発展と地方創生の実現に向けて、引き続き、議会活動に全力で取り組んでまいります。県政に対する皆様のご意見をお待ちしています。

平成28年9月定例県議会 (平成28年9月23日～10月14日)

国の経済対策、安心・安全推進への補正予算

9月定例県議会では、122億7,729万3千円の一般会計補正予算案を可決しました。補正予算の中で最も大きなものは、国の経済対策に基づく対応や台風9号による災害復旧に関連する経費(108億9,425万円)です。他には、歩道や自転車レーンの整備として、約9億7,213万円を計上しました。

主な補正予算

●埼玉水族館復旧工事

2億7,500万円

6月に発生した火災により損傷した施設を復旧する工事。全方位型の水槽の整備など展示方法も工夫し、平成29年3月リニューアル全面営業をめざす。



●歩道・自転車レーンの整備などの推進

9億7,213万2千円

●日本版DMO法人登録に向けた物産観光協会の体制強化

3,482万8千円

国の地方創生推進交付金を活用して、協会が行う専門職員の配置や物産観光戦略のためのデータ収集、人材育成などの事業を補助する。
* DMO=地方公共団体と連携して関係者間の合意を図って、観光地域づくりを行う法人



▲アニメをテーマにした観光も展開 アニ玉祭に集うコスプレイヤー

●埼玉農業の競争力強化

6,238万円

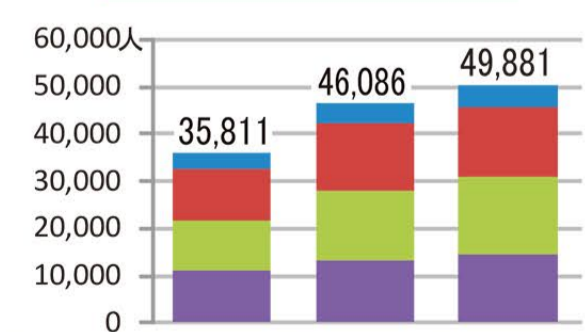
久喜試験場で行われる大規模トマト水耕栽培の実証・研究事業に、土耕栽培技術を加え、県が主体となって栽培技術を普及するため、新たに、次世代技術実証・普及センター(仮称)を整備する。〈継続費(H28～29年度)1億4,433万6千円〉。



福祉保健医療委員会における審議内容

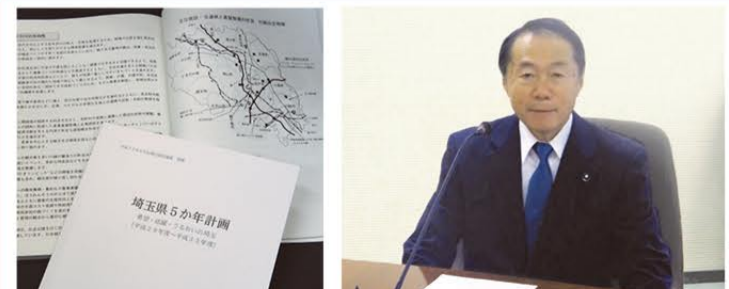
- 2025年に向けた埼玉県地域医療構想(案)を原案どおり承認。
- 平成30年度から国民健康保険が県による財政運営になることから、新制度に向けて運営方針などを審議する「国民健康保険運営協議会」を設置することを承認。
- 小児医療センター新病院と循環器・呼吸器病センターへ診療科目の新設をすることを承認。

入院患者の医療需要推計



(人/日)	平成25年	平成37年	平成47年
需要合計	35,811	46,086	49,881
高度急性期	3,543	4,145	4,232
急性期	10,625	14,007	14,892
回復期	10,701	15,044	16,288
慢性期	10,942	12,890	14,469

「5か年計画特別委員会」が設置される



平成28年度に県の5か年計画が終了することから、知事から次期5か年計画(案)(H29～33年度)が提出されました。これに伴い、県議会に新たに5か年計画特別委員会(委員18名)が設置され、武内県議が委員に任命されました。特別委員会で継続して計画案を審査し、今年度中に議決する予定です。

武内県議 9月議会で一般質問



●傍聴に参加いただいた方の声

- 「やはり体験が大事だ。傍聴に来てみて県政が身近になった。」
 - 「いっしょに参加した人同士で、本音の話ができてよかった。」
 - 「質問した太陽光発電等について、同乗の町議から話を聞いた。」
 - 「公約の道路の話が進んでいない。早く手がけてほしい。」
 - 「議会で知事にも会いたかった。」
- ・・・など

今議会の10月3日、武内県議が一般質問(10月3日)のため登壇し、地方創生の取組や毛呂山町、越生町、鳩山町をはじめとする地域の課題を中心に、県執行部に取組を質問しました。地元から約160人の方が、議会傍聴に訪れました。

質問項目

- 1 地方創生の実現に向けて
- 2 農山村への移住促進の取組について
- 3 高齢運転者の増加への対応について
- 4 県立高校の特色化と「教育環境整備基金」について
- 5 県有施設の跡地利用の促進について



【武内】 県有施設の跡地利用のうち、未だ活用方策が決まっていない旧毛呂山高校の跡地の現状と今後の見通しはどうか？

【教育長】 毛呂山町が近隣の市町とともに「地域活動センター」として活用するため、具体策を検討していると聞いている。県としては、町と十分協議を行い有効な活用方法を検討したい。



▲旧毛呂山高校跡地(毛呂山町)

7 安全面から見た街路樹等の在り方について

6 太陽光発電施設設置の規制強化について

【武内】 太陽光発電設備が、県内各地の山林地域や農地に無秩序に設置されている。県民の安全を守るために、県で独自のガイドラインを定めるべきと考えるがどうか？

【環境部長】 標準的なモデルを早急に策定したい。(11月中に策定することとなりました。)



▲太陽光パネル設置工事現場(越生町)

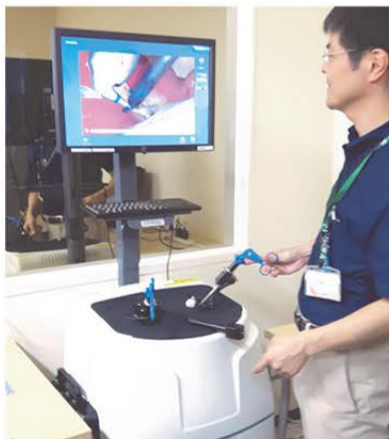
武内まさふみの活動日誌

視察

■福祉保健医療委員会(武内県議:副委員長)の視察

地域医療体制、少子化対策などを学ぶ(8月2~4日 沖縄県)

- おきなわクリニカルシミュレーションセンター(医師や医療従事者に対し、実際の医療現場を想定した模擬研修を行う機関)



- 沖縄県立中部病院(全国的に臨床研修希望者の多い病院)ほか2か所

■人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会の視察

人材育成の特徴的な取り組みを学ぶ(8月17~19日 広島県、兵庫県、大阪府)

- 兵庫県立高砂高等学校(全国優勝に輝くジャズバンド部)



- 神戸製鋼所ラグビー部<サッカー練習風景>



- 大阪大学オープンイノベーション教育研究センター<シミュレーションロボット>



■新彩会(県議会自民党議員団2期)の視察(9月2日)

サービス付高齢者向け住宅「ディーフェスタ東大宮」
介護職員による生活サポート、身体の介護、身体の機能回復など、介護付き有料老人ホームと同様のサービスを提供する住宅。今年8月1日にオープンしました。



式典への列席

■瀬戸大也選手 水泳競技パブリックビューイング(8月7日、10日)

リオデジャネイロ・オリンピック水泳400m個人メドレーで銅メダルを獲得した瀬戸大也選手のパブリックビューイングが2日間開催されました。



■町民報告会(10月16日)

町民報告会が開催され瀬戸選手に毛呂山町特別栄誉賞が授与されました。同日、出雲伊波比神社において、瀬戸選手が流鏝馬の馬に乗って、矢を射るイベントが行われました。



■障がい者スポーツの祭典「ふれあいピック」

(9月25日)

福祉保健医療委員会副委員長として、熊谷スポーツ・文化公園で開催されたふれあいピックに出席しました。熊谷市出身、リオ・パラリンピックの陸上競技に出場した高桑早生選手も応援に駆けつけてくれました。



■県立小児医療センター・日赤新病院完成記念式典(10月15日)

さいたま新都心に完成した小児医療センターは、日赤病院と密接に連携する小児医療の総合医療機関として、新たにスタートします。一般診療は平成29年1月から始まります。

